

決算特別委員会

- ◎ 開催日時 令和4年10月25日（火）9時58分～16時32分
- ◎ 開催場所 議員室
- ◎ 説明員 高木琵琶湖環境部長、宇野農政水産部長、門間土木交通部長、
辻本会計管理者、西村企業庁長、林監査委員事務局長および関係職員

◎ 議事の概要

- 1 議第118号、議第120号、議第122号、議第123号、報第10号、報第14号および報第15号について（部局ごとの審査）

【企業庁所管分】

委員からは、給水事業所数について、利用企業を増やそうとしているのであれば、数値目標を持って、どのような支援により目標達成に向けて取り組んでいくのかを、計画を立てて示すべきではないか、集中監視制御設備点検業務委託について、特殊な技術を要することを理由に随意契約としているが、技術的な部分も含めて契約金額が妥当かどうかをチェックする仕組みを検討すべきではないか、などの意見が出された。

【土木交通部所管分】

委員からは、鉄軌道安全輸送設備等整備事業について、近江鉄道で大雪による脱線事故が起きており、上下分離方式に移行することを見据え、除雪対応など安全管理の議論をしっかりとすべきではないか、鉄軌道関連施設整備事業について、バリアフリー化が進んでいない高架駅があることから、他府県と連携した国への働きかけや、観光も含めた地域の活性化の観点から設置市と連携しJRに提案することも検討されたい、などの意見が出された。

【琵琶湖環境部所管分】

委員からは、水草等対策技術開発支援事業について、水草等の有効利用等について新たな技術等の提案を募集し開発や研究の支援を行うため、5団体に対し補助金の交付を行っているが、水草の問題については継続的に取り組む必要があるので、技術開発や研究をしているところに、引き続きしっかりと支援をされたい、琵琶湖博物館の展示事業について、来館者数の目標を59万人としているところだが、コロナ禍においても、特に駐車場から入館までの流れをスムーズにする工夫や、入館までの経路にも子供が楽しめるような工夫をして、目標とする来館者数に近づけるようにされたい、などの意見が出された。

【農政水産部所管分】

委員からは、しがの米麦大豆安全安心確保推進事業費補助金について、米・麦・大豆に含まれるカドミウムや残留農薬、麦のカビ毒の分析を行う取組に対し助成しているが、環

境こだわり農業を推進する滋賀県として、今後も引き続き食の安全性のアピールにしっかり取り組まれない、農林水産物のブランド力向上について、ブランド化やその戦略のために専門家の活用が有効と思われる事業については、積極的な活用を検討されたい、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 決算特別委員会部局別資料(工業用水道事業会計および水道用水供給事業会計決算)
- 2 令和3年度随意契約の結果(企業庁)
- 3 決算特別委員会部局別資料(土木交通部)
- 4 主要施策の成果に関する説明書(土木交通部門)
- 5 令和3年度随意契約の結果(土木交通部)
- 6 決算特別委員会部局別資料(琵琶湖環境部)
- 7 決算特別委員会部局別資料(琵琶湖流域下水道事業会計決算)
- 8 主要施策の成果に関する説明書(琵琶湖環境部)
- 9 令和3年度随意契約の結果、令和3年度長期継続契約締結結果(琵琶湖環境部)
- 10 決算特別委員会部局別資料(農政水産部)
- 11 主要施策の成果に関する説明書(農政水産部門)
- 12 令和3年度随意契約の結果(農政水産部)